

Fabrique du cinema

岸本亜泉インタビュー記事（日本語）

書道は、日本で最もよく知られ、人気のある伝統芸術のひとつ。

日本語では書道と呼ばれ、文字通り「書き方」を意味します。

書道は非常に長い歴史を持っています。日本の書道の主な焦点は、シンプルさ、美しさと心と体の間のつながりです。今でも実践されており、小学校から大学まで、

学校の人気授業になっています。岸本亜泉さんは、書道を天職とする日本のパフォーマーであり、アーティストである。彼女は、「心書」と呼ばれる独自の書風を革新した。

2008年に会社を設立し、13年間で2万人以上の作品を提供してきた。

日本の書道アートについて、またそれにあなたがどの様に向き合っているか教えてください。

書道アートは、伝統的な書道と違って とめ・はね・はらいなど決まりがなく、

自由に字を崩したり、線の太さを変えて書くことができるので書き手の感性・個性

を表現できる素晴らしいツールだと思います。

私自身は、20年前に初めて筆を握るきっかけがあったんだけど

それ以来、書くことで自分らしさに気づいたり、それを表現したりするツールとし

て人生に取り入れていますよ。

あなたが書物を書くにあたって特別な技法はありますか？また、どの

様な経緯でこのアートをライブパフォーマンスに変えたのでしょうか？身体に書く際の主役(重点)は身体(書物では無く)にあるのでしょうか？

私は書く前に必ず自分の気持ちにフォーカスします。

私が大切にしていることは字をきれいに書くことではなく、どれだけ自分の感情を感じれているかです。それからその感情を腕や筆を通じて形にしています。

このやり方がオリジナルスタイルで、周りから特殊だと言われますね～

身体に書くライブパフォーマンスを始めたのは4年前で、紙だと表現できることに限界があると感じていた時、身体に書いたら面白そうと思いました。

だって、人間の身体は世界に1つしかない唯一無二でしょ、

もちろん、身体に書く時も同じく感情にフォーカスしたり、身体の個性を認めたり愛おしいと思う気持ちを大事にしてるよ。

何故、あなたの書道スタイルを「心書」と名づけたのですか？

心で感じるありのままの感情を自由に表現する筆文字だから

「心の書」という意味を込めて心書です。

このスタイルは頭で考えるスイッチを OFF にして、心のスイッチだけを ON にし、存分に心を震わせながら書くんです。

子供の頃って自由に感情を動かしていたのに、大人になると社会で生きていくために感じることを抑えたり、ごまかしたりすることがちょっと増えるじゃないですか。そして、いつの間にか自分らしさを見失うことがあるので、改めて心に息吹を吹き込んでやるツールになったらいいな～って思っています。

あなたの考えを世に拡散するために協会を設立されていますが、もう少し協会について詳しく教えてください。

私が心書を生み出したとき、書いているときに唯一自分に自由に居ることができて、書けば書くほど自分らしさを取り戻せました。その時間が楽しくて趣味で書いていたんですよね。そしたら、だんだん周りに「一緒に書きたい！」っていう人が増えてきて教え始めたんです。

ただ、習いたい人がどんどん増えるけど私の体は1つしかないから

時間が足りなくなったときに、「私と一緒に教えてくれる人が必要だ」って思ったんです。その当時8名ほどの仲間が手を挙げてくれたので協会を設立してそこから一緒に伝えてくれる講師の育成を始めました。

現在では日本全国に講師がおり、多くの人がこのツールに触れてくれています。

自分を知ること、それを表現すること、伝えることを 楽しんでくれていますね。

日本には素晴らしい映画文化がありますが、あなたの作品やアートを通して伝えたいと思う事に 影響を与えた映画などはありますか？

スタジオジブリの宮崎駿監督の 「となりのトトロ」 っていう映画は大好きです。

「トトロ」という生き物は、創造力豊かだけど 周りに友達のいない主人公の女の子が作り上げた イマジナリーフレンドなんですよ。

その子がトトロに会うために、その幻想にアクセスするために、 いろんな創造力や感受性を使っている姿が、幼いころの自分と重なります。

幼少期は、家庭環境が複雑で親の愛情や友達との友情などに恵まれなかったのによ

く、自分も幻想の中で愛と戯れてよく遊びました。笑

この映画をみるたびに、毎日の暮らしの 一つひとつの体験と丁寧に関わったり

心と体を動かしながら生きていくことを楽しんでいこうって思うし、

それは自分の表現にも大きく影響してると思います。

今後の展望は？新しく企画しているプロジェクトなどがありますか？

実は、ずーっと何年も前から、この「心書」に触れることで、

より自分らしく人生を過ごせる人が海を越えた向こう側にも居ると感じていて、

実際に、海外に向けても作品を披露したりパフォーマンスなども含めた発信をし始めたんです。いつか、心書を英語で学べるレッスンも作りたいなって思い始めたいと思っていたので、今年はそれを動き始めようと準備しています。

まだ、コロナでなかなか自由に海外を行き来することが難しいので 最初は、オンラインや動画で学べるものを作りたいな。そして、いつかは小さなドキュメンタリー映画も製作してみたいです。そのためにも、まずは海外展開のプロジェクトチームのメンバーを 探すところからスタートしなきゃ！と今は思っていて、 現在は、アーティスト活動も含めてプロフェッショナルな人たちと手を組んで これからの活動展開ができるチャンスを探しているところです！

ありがとうございました。

■英語・イタリア語掲載のサイト

<https://www.fabriqueducinema.it/focus/ai-kishimoto-unartista-della-calligrafia-ispirata-da-miyazaki/>

■岸本亜泉オフィシャル HP

<https://aikishimoto.com/>